

岐阜工業高等専門学校

第13号(平成19年12月20日発行)

編集：教育後援会事務局

# 教育後援会通信「ちから」

## 高専祭各学科専門展

—教育後援会も援助しています—



機械工学科



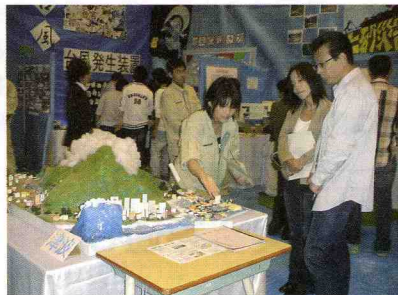
正 門



電気情報工学科



電子制御工学科



環境都市工学科



建築学科

## 充実した学生生活

教育後援会副会長 松 久 茂 盛



はじめまして、本年度より副会長でお世話になっております松久です。  
私は、本校近くの糸貫中学校卒業生で、自身が中学、高校時代から高専祭などを通じて、「自由な空気に包まれた学校だなあ」と、漠然と感じておりました。

私や、家内も普通高校出身で、何かしら受験勉強に追われる日々のみだったような記憶でしたので、自分たちの子供に普通高校はお互い勧めたいとは思いませんでした。

本校に息子たちがお世話になるようになって、内情を知り、大学に編入する学生が増えた事には驚かされました。

でも本校は、イメージ通りの、学生の自主性に任せられている部分が多い学校であることには変わりなく、素晴らしい事だと思います。

ただ、地区懇談会などで聞かれた、資格試験を受験する学生が少ないことや、TOEIC試験のボーダーを上げるという意見を聞きつつ、「学生が自分で見つけてやることの難しさ、学校、家族の関わり方の難しさ」を新たに感じました。



## 海外インターンシップを経験して

### 労働の経験

電子システム工学専攻1年 亀山 寛尊

英語、学習、労働、英国、海外に対して、そして日本人として、今回の海外インターンシップを経て自分自身の中でさまざまなものが大きく変わり、人間としても大きく前進したように感じています。

私たちの日常を取り巻く環境はとても裕福で、なにより平和で不自由がなく、回りには友達や先生、家族など自身を支え、助け、育ててくれる人々が当たり前存在します。

しかし、一歩外に出てしまえばどうでしょうか。そこは知っている人も知っている者もない、自分という領域を超えた何も知らない世界です。そんな世界で信頼できるのは自分自身ただ一人しかいません。人生の大原則のようなこの教えを初めて痛感させられました。特に強く感じた場面はコミュニケーションをとる場面です。

研修の最中、指示はすべて英語で伝えられます。英会話能力がほとんどなかったにも関わらずこの企画に応募してしまったことに始めは後ろめたさを感じたりもしていました。しかし、後悔して立ち止っていたのでは何も始まらないと思い、できるかぎり多くの人々にいろんなことを話しかけました。語彙力も、文法力も、作文力もないので、英国の方々にはなかなかスムーズに伝わりませんでした。それでも彼らは僕らに対してとても親切にやさしくゆっくり話をしてくれました。

毎日コツコツと努力を重ねるうちに、後悔の思いは「絶対にか手ごたえをつかんで日本に帰ってやる」という思いに変わりました。そう思い始めてからは毎日が新鮮で自分に良い刺激を与えてくれるようになりました。そして同時に後ろめたさなど微塵もなくなり、もっともっといろいろなことを学びたいと思うようにさえなりました。英国での生活が自分自身を変えました。

まだ行ったことのない土地において、観光でも留学でもない労働という経験を、学生でできたことは、今の自分に対して、そして今後の人生に対して大いなる飛躍をもたらしたはずです。このような機会を与えてくださった多くの人々に感謝して、今後も学業と人間形成に励みたいと思います。

### 海外実習を通して

建設工学専攻1年 樫坂 紀明

2007年夏、イギリスに行ってきました。海外インターンシップということで、イングランドの北東部、ダラムに工場を構えるTYK Limitedという耐火物を製造する会社で3週間の実習を行いました。

工場ということで、体力が必要な作業も多かったのですが、それ以上に大変なのはコミュニケーションです。当然イギリスなので作業の説明も英語で、その理解に苦しみ、また英人のワーカー達は体格がよく、力持ちなので体力面でも劣っていると感じました。



TYK Limitedの工場



ストーンヘッジ

しかし、非力な日本人を考慮して軽めの作業を与えてくださったり、会話のときはゆっくりわかりやすく話しかけてくれたりと、現地のスタッフにはとても優しくしていただきました。一般的には英人は冷たいと言われていますが、そんなことはなく、紳士の国です。

週末と、3週間の実習が終わった後の一週間の旅行では様々な町に出かけました。実習を行った町ダラムも世界遺産の大聖堂を持つ町でしたが、城壁都市ヨークや、スコットランド最大の都市エディンバラ、サッカーで有名なグラスゴー、ビートルズ出身の町リバプール、謎の巨大石造物ストーンヘンジ、観光名所ロンドンなど、雑誌やインターネットでしか見たことがなかった景色を見ました。特に私は建築学科出身であるため、美しく整ったレンガ造りの町並みや、有名建築家によるハイテク建築を見ることができて、とても有意義な時間を過ごせました。

しかし、駅やバス、コンビニ、お店など、当然英語しか通じないため会話には苦労したが、電子辞書を片手に、中学・高専で習得した英語力を駆使して何とか乗り切ることができました。

この海外実習では、専攻は異なりますが、3週間、毎日仕事をするの大変さや、自分の英語力の未熟さなど人生において大切なことを学びました。さらに、日本には経験できない数々の貴重な体験ができた。この海外実習に派遣して下さった多くの方々に感謝します。

## 保護者見学会に参加して

### 飲料とエレベーターの安全

2年保護者

前日の雨が嘘のように晴れわたった6月15日、昨年に続き2回目となる保護者見学会に参加させていただきました。

今年は江南市の「森永乳業㈱中京工場」と稲沢市の「三菱電機㈱稲沢製作所」でした。

まず森永乳業㈱では、なじみのあるマミーやカフェラッテの製造過程を見学しました。飲料類を容れる紙パックの材料に工夫がされていることや、製造ラインでの品質管理の為に厳しいチェック体制のことなどの説明を聞きました。

昼食後、三菱電機㈱では、社員の方の説明を聞きながら広い工場内を見学しました。エレベーターの製造ラインを詳しく教えていただき、とても貴重な体験でした。

どちらの工場も私たちの生活の中での安全に深く係わるものだったので、興味深く見学させていただきました。

そして、移動中のバスの中では、各学科の先生方より、学生の日々の様子や就職・進学状況などについてお話を伺い、日頃、我が子からは伝わってこない高専の様子を知ることができました。

また、高学年の保護者の方も気さくに話しかけてくださり、本当に楽しく有意義な一日となりました。

先生方・役員さん有り難うございました。

来年の見学会も楽しみにしております。

### ものづくりに取り組むプロ意識

3年生保護者

森永乳業㈱中京工場と三菱電機㈱稲沢製作所を見学しました。乳製品、エレベーターと作る物は異なっても、両社とも、業界を代表する企業としての自社の技術に対する誇りを強く感じました。そして職場の雰囲気（規律・チームワーク）も良いと思いました。「ものづくり」に取り組むプロの意識の高さに感心致しました。

素晴らしい見学と、その上、車中では主事の先生方と各学科長の貴重な話を伺うことができました。さらに同じ高専生を持つ親同士、交流や親睦もでき、本当に楽しく、有意義な一日でした。



## 教育後援会行事予定(平成20年度)

- 4月7日(月) 教育後援会説明会(第一体育館)入学式後10:00～  
 20日(日) 教育後援会役員会 10:30～13:00(事前に連絡します。)  
 5月11日(日) 教育後援会総会 13:30～15:00

## 主な学校行事(平成19年度)

- 1月4日(金)～9日(水) 第42回全国高専体育大会(ラグビー・フットボール:神戸市立)  
 7日(月) 冬季休業終 開寮13:00  
 8日(火) 開講, 第1～3学年:補講, 第4・5学年:平常授業  
 9日(水) 第1・2学年:補講, 第3～5学年:平常授業  
 10日(木) 月曜日の時間割で授業実施 寮生成人祝賀会  
 11日(金) 国立高等専門学校学習到達度試験(第3学年:数学, 物理)  
 12日(土)～13日(日) 第14回中部・近畿高専将棋 第7回中部・近畿高専囲碁大会(主管:岐阜)  
 19日(土) 寮生スキー研修(めいほうスキー場)  
 20日(日) 第41回吹奏楽部定期演奏会(羽島文化センター)入場無料  
 23日(水) TOEIC試験(第3学年及び希望者)  
 2月4日(月)～8日(金) 後期期末試験(第5学年)  
 12日(火)～15日(金) 後期期末試験(専攻科)  
 14日(木)～15日(金) 第1～3学年:補講, 第4・5学年:平常授業  
 18日(月)～21日(木) フォローアップ授業・補講・補習期間(専攻科)  
 18日(月)～26日(火) 後期期末試験(第1～4学年)  
 19日(火)～20日(水) 補講(第5学年)  
 24日(日) 平成20年度入学者選抜検査  
 27日(水)～3月5日(水) フォローアップ授業・補講・補習期間(第1～4学年)  
 3月3日(月) 休講(専攻科)  
 5日(水) 校長講話, 副校長訓話, 学生会総会, 大掃除, 特活, 学級指導  
 6日(木) 平成19年度研究生校長面接  
 6日(木)～7日(金) 補講・補習期間(第1～4学年)  
 7日(金) 寮生部屋替  
 8日(土) 閉寮11:00  
 10日(月)～18日(火) 休講  
 19日(水) 第41回卒業式 第12回修了式 閉講, (第1～4学年専攻科1年休講)  
 20日(木) 学年末休業始  
 31日(月) 学年末休業終, 後期終, 学年終  
 4月1日(火) 学年始, 前期始, 春季休業始,  
 4日(金) 春季休業終  
 6日(日) 開寮13:00  
 7日(月) 第46回入学式9:20～, 学級懇談会, 入寮式, 第14回入学式(専攻科)13:00～

## 「地区保護者懇談会」に参加して

### 滋賀県地区理事

11月4日(日)に滋賀地区保護者懇談会を彦根市の勤労福祉会館で開催しました。

滋賀地区は、湖北・湖東方面からの学生が多く、毎年、「ひこにゃん」で有名になった彦根城の近くで保護者懇談会が行われています。北からは北国街道を、東・南からは中山道を、西からは琵琶湖大橋を渡って、それぞれ琵琶湖の周りから集まっています。懇談会は午後1時から開催しましたが、参加予定者25人のうち半数ほどが当日欠席となり、少し寂しい懇談会になりました。進行は例年のとおり、学校側から地区保護者懇談会資料に基づき、校務報告を丁寧に説明でき、その後全員がそのまま分科会となりました。

分科会では、保護者から一言を添えて自己紹介してから懇談に入りました。学習到達度試験は到達目標があるのか、現在の寮生指導の課題は何か、進路はどうか等の質問がありました。

これまで懇談会はできるだけ二人で参加したいという気持ちでいましたが、それはなかなか出来ませんでした。2・3年の間は必ず一人は参加していました。いろいろな話を聞きながら5年間のことが思い起こされました。

思えば中3の夏休みに「高専受ける。」と言い出し、2月にこの勤労福祉会館で受験しました。そして、合格発表の後に初めて岐阜高専を見に行った時は、なんと遠いナ〜と感じたことか。その見学の時に記念にこっそり貰って帰った、中庭のソテツの実が庭で根付いています。今でこそ遠いとは感じなくなりました。これから何回往復できるのでしょうか。

また、入学式に初めて入ったA寮。先に寮を見ていたら、岐阜高専を受験しなかったかも知れません。近くのスギヤマでガムテープを購入して穴を塞いだことを思い出します。暫く落ち着いた頃に、学校から「岐阜中央病院に入院されました。」と電話があり、取るものもとらずに病院へ行って行きました。先生方には大変ご迷惑をおかけしました。その日のうちに家の近くの赤十字志賀病院へ転院して、一週間の入院で寮に戻りました。この出来事で少し強くなったのかも知れません。

寮生のあの大きな声のあいさつにはちょっと行き過ぎと感じていました。厳しい指導もあったと思いますが、その後は何事もなく5年間寮生活を送ってくれました。

進路については、大学編入学が最後の専攻変更の機会として、どこの編入試験に通っても本人の思いを最優先すると決めていたようです。親としては、子供の希望を受け入れました。

最後に、進路選択・寮生活のこと等いろいろなことがあろうと思いますので、皆様の時間が許される限り多数、地区保護者懇談会に参加されることを願います。



岐阜地区校務報告



岐阜地区D学科懇談会



## 本校の体育系クラブ大活躍！ (東海地区体育大会)

今年も無事に東海地区体育大会が終了しました。

平成18年度及び平成19年度の東海地区体育大会の成績を数値化してみました。

数値化に当たり、オーソドックスに優勝は3点、2位は2点、3位は1点で計算しました。その結果、  
H18年度 109点

H19年度 127点（雨天で競技ができなかったサッカーを除く）

と、18点向上し、今年は大活躍でした。

点数が上がった理由として、柔道部の成績がとくに良かった点が上げられます。さらに、平成18年度より、点数が上昇したクラブは6クラブ（ピンク）、下ったクラブは3クラブ（ブルー）、変わらなかったクラブは3クラブ（白）と、ここでも改善されたことがわかります。

学生主事を始めとして、顧問、部員の努力によるものと考えます。

教育後援会で、本年度から「学生クラブ援助費」の予算項目を設け、文科系を含む全クラブに配分しました。このことが今回の活躍に役立っているならば、うれしい限りです。

	平成18年度	平成19年度	比較
陸上競技	39	39	0
テニス	0	1	1
バドミントン	9	11	2
ソフトテニス	9	11	2
サッカー	0	0	0
柔道	22	38	16
バレーボール	3	3	0
硬式野球	3	2	-1
剣道	8	6	-2
ハンドボール	2	2	0
卓球	10	10	0
水泳	0	3	3
バスケットボール	4	1	-3
ラグビーフットボール	0	1	1
全種目	109	128	19



### 来期こそ全国大会へ！



#### ●編集後記

暑い、暑いと言っている間に北風が吹き、雪の便りが届くようになりました。

地区保護者懇談会では多数のご参加をいただき、お礼申し上げます。お子様に関する悩み事に、上級生の保護者の方から「心配いりませんよ」と、暖かい励ましの言葉があったり…心温まる懇談会でした。

去る12月7日には産官学交流懇談会で、シンポジウムに引き続き、岐阜高専地域連携協力会総会が開催され、この会が発足いたしました。企業と岐阜高専の連携が強化されることになります。本校企画室が窓口になっておりますので、皆様にお知らせいたします。

事務局長 橋浦正史

発行：岐阜工業高等専門学校 教育後援会事務局 TEL・FAX (058) 323-8752  
〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 E-mail: gnctk@yahoo.co.jp